

2022 年度(令和4年度)学校評価自己評価表

精華中学校区	校番 34	福山市立金江小学校
最終更新日	2022年(令和4年)4月1日	

I 福山市

ミッション	福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
ビジョン	「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区

<p>前年度学校関係者評価の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒はコロナ禍にあっても、人のため・地域のためにできることはないかと考え活動を工夫している。</li> <li>・一堂に会することは難しいが、学校・保護者・地域が互いに連携協力できるように、各学校の情報を細やかに知らせる。</li> <li>・小規模校の良さを活かしてほしい。</li> </ul>	<p>児童生徒の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規範意識が高く、言われたことを守ろうとするだけでなく、自ら考えて行動することもだんだんとできるようになってきている。</li> <li>・自分の考えをしっかりと伝えようという意欲はあるが、うまく伝わるよう工夫して伝えるまでには至っていない。</li> <li>・地域とのかかわりが強く、中学校区に対する愛着は強い。</li> </ul>	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&amp;倫理観”)</p>	<p>【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体的に学ぶ力】【自己形成力】</p>
		めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確かな学力を身につけ、自ら進路を切り開く子ども</li> <li>・自己肯定感が高く、社会に貢献できる子ども</li> </ul>
		中学校区として統一した取組等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「主体的な学び」の授業づくりに取り組み、学力の向上を図る。</li> <li>・「自己表現」「あいさつ」に取り組み、自己肯定感の向上を図る。</li> <li>・「自分で選び・決める活動」に取り組み、自己形成力の向上を図る。</li> </ul>

III 自校

<p>ミッション</p> <p>地域に貢献する 自立した子どもの育成</p> <p>～主体的に学ぶ授業の実現～</p>
<p>学校教育目標</p> <p>共に高まる たくましい子の育成</p>
<p>現状</p> <p>&lt;児童生徒&gt;</p> <p>真面目な生活態度で素直な児童が多い。学年単学級で固定化された学級集団で生活しているため、自分の良さを発揮する機会に限られ、自分の思いや考えを伝えようという意欲はあるが、豊かに表現するまでには至っていない。学習面では、学びに向かう姿勢や基礎学力は定着してきているが、子どもの豊かな発想による学びの深まりには課題があり、自分で考え自分から取り組む力や、自分の思いや考えを自信を持って表現できる力を更に高めていく必要がある。</p> <p>&lt;授業&gt;</p> <p>授業では、児童と共に単元計画を立て、児童が自分のめあてに沿って学びを振り返る場を持つことで、考えの広がり・深まりや学習のつながりを実感できるよう取り組んできている。児童が興味・関心・意欲をもって課題を見出し、課題解決の方法を自ら考えられるような授業づくり、自分の学びを実感し次へつないでいけるような授業づくりが必要である。</p>

育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	主体的に学ぶ力	思考力・判断力・表現力	自己形成力	
めざす子ども像	1～4年	日常生活をよくするために、生活体験などの情報を生かし、自分なりの理由を付けて課題を解決している。	自分の考えを持ち、話したり書いたりして表現している。	思いやりの心を持ち、目標を達成するために、協力し合い、粘り強く努力している。
	5・6年	日常生活や地域社会をよりよくするために、様々な情報の中から課題に応じた情報を選択し、根拠をもって解決している。	既習事項を活用して、自分の考えや意見を話す・書くなどで表現している。	誰に対しても思いやりの心を持ち、より高い目標を達成するために、相手の立場や考えを尊重しながら、粘り強く取り組み、やりぬいている。
研究	テーマ	主体的に課題を追究し、共に高まる子どもをめざして ～ICTの効果的な活用と子どもが主体的に活動する場の工夫～		
	内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童が主体的に活動する場を工夫することで、自分で考え自分から取り組む力や、自分の思いや考えを自信を持って表現できる力をつける。</li> <li>○児童がICT機器を活用し、学びを深められるようにする。</li> </ul>		
めざす授業の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「自分で選ぶ・自分で決める・自分で計画を立てて進める・自分で軌道修正する・自分の言葉で語る・自分の学びを振り返る」など児童が主体的に活動する場を工夫することで、児童の学ぶ意欲と学力を向上させることができる授業</li> <li>○教科・単元の特徴に応じてICTを効果的に活用し、学びを深めることができる授業</li> </ul>			

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立金江小学校

年 目	中期経営 目標	重 点 分類	短期経営 目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)			最終評価(2月末)				
						□指標に係る 取組状況	70%以上 達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況	70%以上 達成 評価	総合 評価	改善方策	
1	「主体的な 学び」の授 業づくりを 進めて、学 ぶ意欲と学 力を向上さ せる。	★ 新規	主体的、 協働的に 学ぶこと ができる 授業をつ くる。	・児童が主体的に活動 する場を工夫した授 業を一人一回以上提 案し、検証する。	・振り返りにおいて「課題 の解決に向けて、自分 で考え、自分から取り 組んでいる」児童を 80%以上にする。 ・国語・算数の単元末テ ストにおいて正答率 60%未満の児童を 10%未満にする。								
			新規	読書活 動的に積 極的に取 組む児童 を育成す る。	・おすすめの本をロイ ロノートで紹介し合 う。 ・読書郵便を校区で交 流し合う。	・おすすめの本を月1 回以上ロイロノート で紹介し合う。 ・おすすめの本を3冊 以上読む児童を80% 以上にする。							
1	教職員の資 質・能力の 向上を図 る。	新規	児童が 主体的 に自分 の言葉 で表現 する場 を設ける。	・教科・単元の特徴に 応じて、ICTを活用 して考え合う場面 を取り入れた授業を 行い、校内で共有す る。	・「自己研鑽している」「I CTを活用して考え合 う場面を取り入れた授 業を共有し、授業づく りに生かしている」教 職員を100%にする。								
1	児童・生徒 の自己肯定 感を高め る。	新規	生活習 慣を確立 し、自分 から進ん で行動す る児童 を育成す る。	・「あいさつ」「思いや り」に全校で取り組 む。 ・児童主体の学校行事、 係活動、委員会活動を 充実させる。	・毎週の振り返りで「自分 からあいさつができた」「 思いやりのある行動 がとれた」児童を85% 以上にする。 ・「自分でできることを考 え行動できた」児童を 85%以上にする。								

[プロセス評価の評価基準]		[達成評価の評価基準]		[総合評価の評価基準]	
評点	評価基準	評点	評価基準	評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。	5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。	5	100%以上の達成度 十分に目標を達成できた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。	4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。	4	80%以上100%未満の達成度 概ね目標を達成できた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。	3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。	3	60%以上80%未満の達成度 ある程度目標を達成できた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。	2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。	2	40%以上60%未満の達成度 あまり目標を達成できなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。	1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。	1	40%未満の達成度 目標を達成できなかった。